

4歳児クラス 10月 第1回 「10までかぞえられるこやぎ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：絵本提示「ここにちは、ぼくはこやぎ、数を数えるのが得意なんだ！」「ここにいるお友達が何人いるか数えてみるね！」等会話を楽しみ、絵本へ繋げる。 子ども達の数を絵本のこやぎが数えていくなど工夫すると楽しい。 	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	①「ひとつ・ふたつ」「1・2」と数える場面では、絵本の動物を指さしながらゆっくりと数える。※ペン機能を使うのも良い。 ②お話の後に、子ども達の数を数えたり、先生の数を数えたりして数への興味を広げる。	保育士の役割	
		・会話をする	

がくしゅうタイム

活動①	ねい	数	ドットカードにシールを貼り1～10のカードを作ることができる	教材
設問	ドットカードにシールを貼り1～10のカードを作りましょう			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「数えるのって楽しいね」 			提示用ドットカード 提示用エーワンシール ドットカード エーワンシール
	<ul style="list-style-type: none"> 保：マジシャン登場 「ここにちは私はカードマジシャンです」ドットカードを提示する。(マジックショーのような感じで、すべてシールの貼ってあるカードを提示する) 講：「すごい、先生もその素敵なかード欲しいな」 保：「もちろんありますよ」等で、提示用カードを渡す。 提示用ドットカードは、マジシャンのとは違うことを皆で確認する。 保：「自分で数えて作るんですよ」等でシールを渡し退場する。 数字を確認し、数えながらシールを貼っていく。 子ども達にもカードとシールを配布し、ドットカードを作る。 早く出来上がった子は静かな声でカードのドットを数える。 			
活動②	ねい	数	ドットカードで数を理解し数ゲームを楽しむことができる	教材
設問	ドットカードでいろいろなカードゲームを楽しみましょう			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「カードは出来ましたか？」 			提示用ドットカード ドットカード 輪ゴム1人1本 保育士の役割
	<ul style="list-style-type: none"> 皆で並べて数えてみる。 カードゲームは、決まったルールはありません。子ども達と考えながら楽しいゲームを行いましょう。 <p>【ゲーム例】</p> <ul style="list-style-type: none"> カード早取り競争（先生が言う数字や、見せた数字と同じカードを素早く探す） 神経衰弱（隣のお友達のカードと混ぜて行う） せーの！（先生やお友達と「せーの」でカードを出し合い、どちらの数が大きいか？小さいか？勝負！！） 数チヤレ（先生が3を出し、いくつのカードを出せば5になるか…）等、トランプゲームやオリジナルゲームを楽しく行う。 楽しく遊べたら、称賛して終了。 カードは輪ゴムで留めて持ち帰る。お家や保育でも遊ぶことを約束する。 			

※今回は活動②を数チャレとする。

保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	ペン機能を使用し出来たか
活動①数	1~10の順序数の理解と、「あといつで10か」と言う理解も意識させながら指導を行ったか
活動②数	クラス(個々)の理解度に合わせたゲームを行えたか
数チャレ	活動②に含む
シアター	ペン機能を使用し出来たか

練習タイム♪

*** テーマ・数 ***

カード(トランプ)遊び

●カード早取り競争

カードを床に表向きに広げて相手が言う数字や、見せた数字と同じカードを素早く探す。

●せーの！

カードを人数分で分けて持ち「せーの」でカードを出し合いどちらの数が大きいか(小さいか)で競う。

●数チャレ(合わせた数の理解)

10以下の数字のカードを表向きに床に広げ、予め決めた数になる様にカードを集め取る。例:「7」なら「4と3」等



カード遊びを通して自然と数に触れていています。
数の概念は、実際に悩んだり、考えたり体験することで身についていきます。

今月のえかきリズム

*** いっちゃん ***



えかきリズム
の動画は
こちら



練習タイム
の動画は
こちら

